

## はじめに

この単語帳を、日本に住んでいる外国人の中で最も数が多いグループの一つであるフィリピン人の皆様に、心を込めて捧げます。

現在、日本において永住者及び家族滞在ビザをもつフィリピン人は他の滞在ビザの人たちの数よりも多く、日本で定住する傾向を強めています。

世界中の他国の移民や日本における他の外国人たちと同様に、フィリピン人はこの多文化社会の中でいろいろな課題に直面しています。中でも特に移民の子供たちが自分たちの文化のルーツに対してしっかりした基盤と誇りを持つるように、より多くのサポートが必要です。また、かれらが言語や文化の壁を乗り越えるのも支援する必要があります。

カトリックつくば教会では1990年代、日本の言語と文化に適応することの難しさを経験したフィリピン人移民の子供たちのニーズに対応するため、その子供たちのための特別な移民学校がフィリピン人ボランティアによって開始されました。

それは、カトリックつくば教会のメンバーだったフィリピン人家族と筑波大学のフィリピン人の研究者等によって実行されました。教会で日曜クラスを開き、そこでかれらに家庭や学校そして日本と国際社会の様々な場面において必要な言語（フィリピン語・英語・日本語）が教えられました。また、移民の子供たちが自分自身の文化や社会に対する強い誇りと知識を持つよう指導を行い、日本の社会や文化に広く理解を深めることを目的とした文化的な学習指導が行われました。さらに、日本全体および他の社会における子供たちの成長を促進するために、子供たちの学習を評価し、学習への興味を増進するための基礎情報も提供されました。

2009年から、カトリックつくば教会のフィリピン人ボランティアたちは、筑波大学の明石純一教授と協力してこの移民学校を発展させ、多文化化の進んだ日本において大人のフィリピン人の仕事・キャリア・日本人と他の外国人との相互関係向上を支援するために、かれらへの日本語のトレーニングを開始しました。

筑波大学大学院の元後輩で現在宇都宮大学国際学部長の田巻松雄先生から今年(2013年)初め、フィリピン人の子供たちが日本の学校内での学習や生活に溶け込むのを支援するため、フィリピン語の辞書を作成する仕事を打診されました。このプロジェクトの目的は、私たちの過去のもので現在進行中の取り組みと一致しており、また移民特にかれの子どもが日本社会でより効果的に視野を広げ、希望を持ってよりよく融合し成長するのを支援する機会も私たちに提供してくれることから、私たちはすぐに協力することを承諾しました。

この単語帳の出版を通じて私たちがフィリピン移住者の皆さんに奉仕できることは、私たちにとって名誉なことであり喜びです。そして私たちが、多文化化する日本においてより良き理解とより有意義な相互関係促進の架け橋となることを願ってやみません。

須藤エルビラ、マリア・ロザリオ・ピケロ・バレスカス  
Elvira G. Suto, Maria Rosario Piquero-Ballescás